

令和五年度

行橋市歴史資料館企画展

海軍築城航空基地と 太平洋戦争

企画展講座

「築城航空基地と稲童掩体」

【講師】

小川秀樹（行橋市歴史資料館長）

【日時】

9/3（日）14:00～

【会場】

コスメイト行橋企画展示室

※参加費・事前申込みは不要です。

ギャラリートーク

【日時】

8/6（日）、8/20（日）、9/18（月・祝）

各回 14:00～

【会場】

行橋市歴史資料館 展示室

※参加費・事前申込みは不要です。

開催期間 2023.8.5（土）－9.18（月・祝）

行橋市歴史資料館

〒824-0005 行橋市中央 1-9-3 コスメイト行橋2F TEL&FAX 0930-25-3133

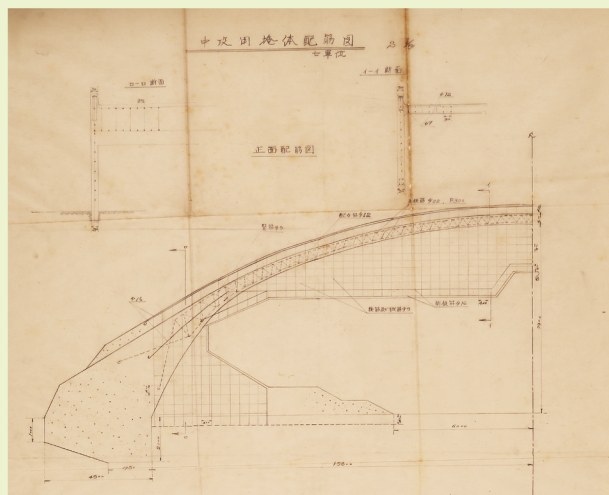
【開館】 10:00～18:00（最終入館は17:45）【休館日】 毎週火曜 【入館料】 無料

企画展「海軍築城航空基地と太平洋戦争」

日本は満州事変や日中戦争に続き、昭和16年（1941）12月にはアメリカ、イギリスなどの国々を相手に太平洋戦争に突入しました。この戦争が始まる2年前、海軍は築城飛行場の建設を始め、飛行場の周辺にも基地の施設が次々につくられていきました。太平洋戦争中、築城航空基地はたびたび米軍の空襲を受け、基地の周辺も大きな被害を受けました。その時の空襲の傷跡が今も神社や墓地などに残されています。

戦争の記憶を刻んだこのような遺跡も、時の流れの中で少しずつ失われつつあります。基地の軍用機を空襲から守るためにつくられた掩体もその1つです。このうち市が保存整備した掩体は爆撃や銃撃の跡が残り、戦争の様相を良く示す貴重な戦争遺跡として、令和5年3月28日に福岡県の文化財に指定されました。

このたびの企画展では、発掘調査の出土品や、築城航空基地に関する資料のほか、戦時中の人々の暮らしを物語る品々を展示し、太平洋戦争と私たちの地域との関係や、戦争と平和について考えます。



▲中攻用掩体配筋図（部分）
（宇佐市教育委員会蔵）



◀陶器製食器
（瀧コレクション）



◀陶器製水筒
（瀧コレクション）



▲開戦時の駐米大使野村吉三郎の勲章
（瀧コレクション）



▲20ポンド破片爆弾尾翼
渡築紫遺跡B区出土
（行橋市教育委員会蔵）



▲海軍志願兵徴募ポスター
（瀧コレクション）



▲築城航空基地に配備された主な軍用機
（模型製作：北九州銀翼会）



▲築城航空基地を空襲した主な米軍機
（模型製作：北九州銀翼会）



行橋市歴史資料館
Yukuhashi city historical museum



〒824-0005 行橋市中央1-9-3 コスメイト行橋2F
TEL.FAX 0930-25-3133
開館時間 10:00 ~ 18:00（最終入館 17:45）
火曜日休館 入館無料



Instagram



Facebook